

4 . 目的別歳出の状況

構成比が最も高いのは民生費 (21.7%) で、10年度に土木費を抜いて以来 6年連続 1位。前年度比に比べ、民生費、教育費、公債費等が増加し、衛生費等が減少している。

民生費は、児童福祉費や、支援費制度移行による扶助費、国保や介護保険への繰出金が増加。教育費は、生涯学習施設等の整備や小中学校の増改築や統合が増加。また衛生費は、ゴミ処理施設建設の終了によるものである。

目的別歳出のおもな構成比は、下表の通りである。

< 目的別歳出の構成比順 > (単位：%)

費 目	構 成 比	
	平成 15年度	平成 14年度
民生費	21.7	20.5
土木費	17.6	17.3
公債費	15.0	14.5
教育費	13.3	12.6
総務費	12.9	13.2
衛生費	9.6	11.8

丸数字は構成比の順位

< 目的別歳出の内訳と増減 >

